

NEWS RELEASE

2009年8月31日

(財)損害保険事業総合研究所

8月25日発刊「損害保険研究」71巻2号のご案内

損保総研では、学者と実務家による損害保険とその関連分野に関する研究・調査発表の場として、機関誌「損害保険研究」を年4回（5、8、11および2月）発行しており、今般8月25日に71巻2号を発行いたしましたのでお知らせします。

今号では、巻頭に法政大学名誉教授・西嶋梅治先生の寄稿を掲載しました。

1960年代に損保業界のバックアップによりスタートし、ご自身も若手研究者の一員として参加された「保険法研究会」における研究成果が、今回の新保険法の制定に繋がったと回顧されています。当事者ならではのエピソードも披露され、保険事業が「学理」と密接な連携を保って行くことが必要不可欠であると再認識させられる内容となっています。

また、今号では大規模災害に備える保険制度に関する研究論文や乗合代理店の専門性に関する基礎的考察をおこなった論文なども掲載しましたので、実務的な観点からも是非とも皆様にお読みいただきたく、貴紙でのご案内をよろしくお願い申し上げます。

71巻—2号の主な目次

<寄稿>

損保総研『保険法コンメンタール』発刊に寄せて
—保険法研究会による立法準備と裏方的役割—

法政大学名誉教授 西嶋 梅治

<研究論文>

・人身傷害補償保険における損害把握
—訴訟基準と人身基準の乖離問題—

福岡大学法科大学院教授 佐野 誠

・大規模災害に備えた安心社会を実現するための保険制度の基礎研究

名古屋大学大学院経済学研究科教授 家森信善

関西学院大学商学部教授 岡田太志

中京大学経済学部教授 小林 毅

・賠法73条1項にいう「損害のてん補に相当する給付を受けるべき場合」について

沖縄国際大学法学部教授 田中 稔

- ・保険における逆選択と法学

東京大学助教 飯田秀総

- ・1974年（1990年改正）、1994年および2004年ヨーク・アントワープ規則の基本的問題
（1）

元東京海上火災保険株式会社 中西 正和

- ・乗合代理店の専門性に関する基礎的考察
－損害保険における乗合制度を中心として－

エイチ・エス損害保険（株）濱田 裕介

<研究ノート>

保険における因果関係の研究

元（株）損害保険ジャパン 小路丸 正夫

<判例評釈>

暴走行為を行った仲間の過失を被害者側の過失として斟酌することを認めた事例

大東文化大学法学部准教授 松原 孝明

<判例研究会>

- ・設計ミスに基づく建物の構造上の欠陥が、建築家賠償責任保険の「滅失またはき損」に当たらないとされた事例

首都大学東京法科大学院教授 潘 阿憲

- ・不実申告の内容が事故申告の一部にとどまるが全体として保険者による保険事故の実態把握を困難にし、損害算定に誤認を生じさせる可能性が高い事項であることから車両保険金全額につき保険者の免責が認められた事例

大阪大学大学院高等司法研究科教授 山下 典孝

<損保総研の事業紹介>

- ・2008年度下期調査報告書
- ・損保総研レポート第87号（2009年3月）

（財）損害保険事業総合研究所 研究部

お申し込みの要領

- ・ 年間購読料 **6,300円**（消費税・送料を含む）、ただし71巻2号（2009年8月号）から72巻1号（2010年5月号）までの1年間4冊分
- ・ 申込み方法 当研究所ホーム・ページ（<http://www.sonposoken.or.jp>）をご覧のうえ、ウェブ経由または申込書のファックス送付のいずれかの方法によりお申込み下さい。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

財団法人損害保険事業総合研究所

編集室 鈴木 喜昭 (TEL : 03-3255-5513)

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。